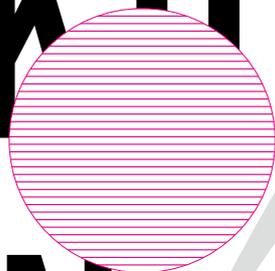
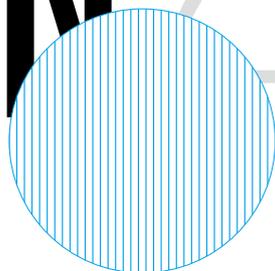


# NAGAKUTE

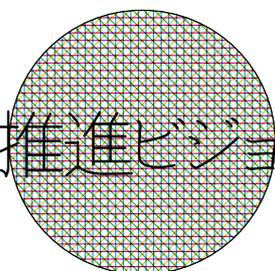
# VISION



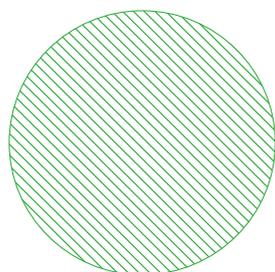
愛知淑徳大学



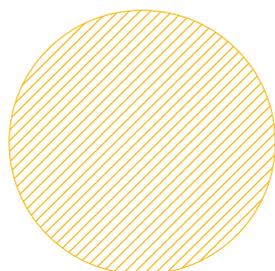
愛知医科大学



長久手市大学連携推進ビジョン 4U ワーキング



愛知県立芸術大学

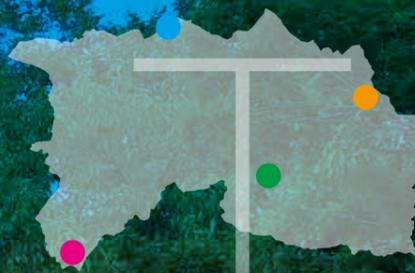


愛知県立大学

2017 年度

## 活動レポート

# NAGAKUJI VISION 4U



目指すのは「日本一の福祉のまち」。  
長久手の4大学と長久手市が手をつなぎます。

豊かな自然に商業施設、あるいは歴史の足跡や人々をなごませる公園。  
さまざまなものがバランスよく存在し、住みよく、魅力あふれるまち、長久手。  
将来、このまちに高齢化と人口減少の波が訪れても、変わらず魅力的なまちであり続けたい。  
そんな願いをかなえ、「日本一の福祉のまち」を実現するため、大学だからこそできることがあるはず。  
医療、福祉、そして芸術とキャラクターも異なる4大学。  
ワーキングを行い、ディスカッションを重ね、まちへの提案を考え合う。  
想定外の化学反応を生み出すために、市民、企業、大学、長久手市とが手をつないでいきます。

## 長久手市大学連携推進ビジョン4Uワーキング

長久手市大学連携推進ビジョン4Uの策定にあたり、4回にわたり4大学合同の学生ワーキングがおこなわれました。ワーキングでの主な取り組みは、以下のとおりです。

### ①お互いの大学のことを知る

大学連携を進めるためには、大学生にまずお互いの大学のことを知ってもらう必要があります。普段はなかなか入れない他の大学に行き様々な施設を見たり、学生の活動や教員の研究・教育の話をついたりし、刺激を受けました。

### ②長久手市の現状を知る

大学生に長久手市で様々な活動をおこなってもらうためには、長久手市のことを知ってもらう必要があります。ワーキングでは長久手市内で様々な活動をしている皆さんから、長久手市の良いところや抱えている問題などの話を伺い、長久手市長や市職員から、長久手市が大学や大学生に期待することなどを話しました。

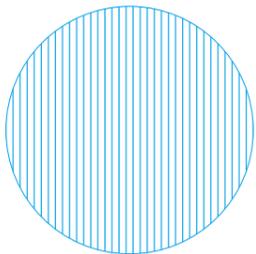
### ③学生が自分たちができることを話しあう

4つの大学から参加した大学生が、大学単位で、あるいは大学の垣根を超えてディスカッションをして、大学や大学生が地域でどんな活動ができるか、いかに地域に貢献できるか、そして自分たちのやりたいことが実現できるかを話し合いました。





2017 | 6 | 28



愛知医科大学

## 第1回ワーキング 初めてのワーキング、初めての顔合わせ。 4大学の思いをのせて、「4U」がスタートしました。

第1回目のワーキング会場は、ドクターヘリが出迎えてくれる愛知医科大学。教員や先輩たち、市の職員のトークに耳を傾け、「日本一の福祉のまち」づくりを実現するため、学生たちは自分たちの活動と結びつけ、どうすればよいかを考えます。心地よい緊張とそれぞれの思いをのせて、「4U」は出発しました。



### 愛知医科大学の地域連携

#### 地域住民や学生の健康を守りたい

災害時に備え、何万人という人々が助かるように、医学生看護学生による住民や学生に向けた応急手当や心肺蘇生講習を行い、それを各大学の中でもひろげていけるシステムをつつていきたいです。

若さが特徴の長久手では、地域住民や近隣大学生の健康増進や疾病予防に貢献することが、私たちの使命。また、病気を抱えている方の生活やご家族への支援なども、医療の観点からできるのではと思っています。

川原千香子先生  
愛知医科大学  
医学部  
シミュレーション  
センター講師



### ゲストトーク 先輩たちによる地域連携の取り組み

#### 長久手市のハッピー、学生のハッピー

長久手市のハッピー、学生のハッピー。どちらもハッピーになることが大切です。長久手市が日本一の福祉のまちになるには、どんな課題があり、解決するためには学生に何ができるのか。普段の学びを生かしながら、みんなで考え、提案していきましょう。

小島祥美先生  
愛知淑徳大学  
交流文化学部  
交流文化学科准教授



### 大学の力を生かしたまちづくり

#### 長久手市の未来に学生さんの力を

若くて元気なまちといわれる長久手市も、いずれ超高齢かつ人口減少社会を迎えます。行政だけでは解決できないため、大学の力、学生さんの力、市民の皆さんの力、企業の力、この地域に関わる多くの力が必要になります。

まちの多様な人々の考えを受け入れる、柔軟なしくみづくりをしている長久手市。それぞれの立場の人が、役割と居場所をもって自らのまちづくりに関わるといふ新しいまちの形をめざし、学生の皆さんならではの力をお借りしたいです。

笹山実希さん  
長久手市役所  
くらし文化部  
たつせがある課  
交流推進係



100年先の長久手市がさらに魅力的になるように、皆さんと地域の課題を共有し、一緒に考えていきたいです。大学と地域の連携を深め、それぞれの強みがかもって活かせるようにしていきます。



### 地域福祉×学生の可能性

#### 特別なことではないボランティア

全ての人が互いに支え合うしくみをつくるために、ボランティアは特別な人だけに任せておくものではありません。一見、福祉と結びつかない活動も、必ずどこかにつながっていく。人のための奉仕は、自分自身にとっても重要な意味を持ちます。

理念を現実のものにする行動、自発的にみんなが参加できるしくみづくり、そして参加する全ての人が成長し、地域と大学生が共にハッピーになる活動。これらが日本一の福祉のまちにつながる重要なポイントです。みんなでも考えていきましょう。

松宮朝先生  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科准教授



### 学生ディスカッション

#### 地域と学生のハッピーを考える

4大学集まっておこなう初めてのディスカッションは、各大学の学生や職員を混在させたグループづくりから。七つに分かれた5、6人のグループ単位で、長久手市と学生が連携することによって生まれる、お互いのハッピーを考えます。

ディスカッションの最後には、長久手市が日本一の福祉のまちになるため、今日の学びを漢字一文字で表現。「人」「仲」「愛」「楽」「活」「挑」の他、スタートを表す「ゼロ」と、市と学生の「輪」を意味する「〇」があがりました。

多くの大学が集まる長久手市やリニモ沿線。普段から地域の方々と学生のつながりをつくり、万一の災害時にもお互いに助け合えるまちをめざして活動しています。



櫻木悠平さん  
愛知学院大学経営学部4年  
AGUボランティアセンター、  
リニモ沿線合同大学祭実行委員会代表

社会経験が乏しい中で学生は活動をしているので、温かい目で見守ってもらえると嬉しいです。ミスができる環境を大人の方々につけていただけると、学生も新しいことに飛び込み、活動にも参加しやすくなると思います。



ボランティア活動の情報があり、1人でも気軽に入れる拠点のような場所があるといいですね。学生にはどんなことが学びになるのか、このためには何が必要なのか、考えながらサポートしていただくと学生のやる気につながります。

長久手市内の農家さんと一緒に挑戦した、有機栽培でのお米づくりがボランティアの入り口でした。こうした活動から、困難にぶつかったときにも、いろいろな角度から物事を捉えられる力がつきました。





2017 | 8 | 4



愛知淑徳大学



## 第2回ワーキング

# ピクニックのような、なごやかな雰囲気の中、 思い描く夢や挑戦したいことを語り合いました。

第2回目のワーキング会場は、愛知淑徳大学CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)。  
床に敷いた丸いラグ、ケータリングのおむすびやカラフルな野菜料理。  
ピクニックのような雰囲気に、緊張もほどけていきます。  
市長や実践者の話から新たな発想を得て、自立したまちにするにはどうすべきかをそれぞれが考えました。



## 愛知淑徳大学CCCの地域連携の取り組み

### 学生が中心となった地域連携推進の場

CCCは、世代や性別、障がいなどの違いを越えて学び合い、自分らしく生きるという本学の理念「違いを共に生きる」を実現する場です。「地域に根ざし、世界に開く」というテーマのもと、地域との関わりを深め、学生を中心とした地域連携を推進しています。

**小早川真衣子先生**  
愛知淑徳大学  
コミュニティ・  
コラボレーション  
センター助教

ボランティアのコーディネート、学生団体へのサポート、さらにはCCC科目を開設し、学生たちが地域との連携や活動推進に必要な知識やスキルを高められるカリキュラムづくりを実践しています。



## ゲストトーク NPOによる地域連携の取り組み

### 地域が変わっていくための協力を

学生時代は、重度の障がい者や障がい児のヘルプをするサークルやリモ沿線合同大学祭に参加していました。長久手市は学生の力を生かしたいと大きく扉を開けているので、まち全部がキャンパスだと思って、どんどん踏み込んで欲しいです。

**司会  
小島祥美先生**  
愛知淑徳大学  
交流文化学部  
交流文化学科准教授



**都築康成さん**  
愛知淑徳大学  
福祉貢献学部  
福祉貢献学科卒業、  
長久手市役所勤務



## 愛知淑徳大学の学生による 取り組み01 tASUkeai 子どもたちが楽しく学べる防犯

子どもたちの「自分で考える力」や「助け合う力」の育みをテーマに、防犯教室を定期的におこなっています。この活動と一緒に考え、学び合う中で、動機も目的もそれぞれだった人たちが、まちのために何かしたいという同じ志を持ち始めました。



**加藤沙也果さん**  
愛知淑徳大学  
メディアプロデュース学部  
メディアプロデュース学科  
都市環境デザイン専攻3年



## 愛知淑徳大学の学生による 取り組み02 アミーゴ 日本語が苦手な子どもたちを応援

日本語が苦手なため、学校の勉強に自信が持てない外国人の子どもたちを対象に、多読を通じて日本語を学ぶ機会を増やす活動をしています。彼らに気軽に声を掛けられる社会づくりをこの地域で実現したいです!



**桑山千香子さん**  
愛知淑徳大学  
交流文化学部  
交流文化学科2年



## 学生ディスカッション 夢や挑戦したいことを語る

メンバー同士の距離を縮めるためにおこなわれたのは、学生によるアイスブレイク。場がなごみ、市長の話聞き、感じたことをそれぞれのグループで話し合います。市長への質問も活発におこなわれ、「つながりをつくるためには、受動的でなく能動的に動くべき」など意見が出ました。

最後には、個人が思い描く夢や、チャレンジしてみたいことをそれぞれが書き、みんなで土鍋の中へ。次回の「鍋を囲んで」にバトンをつなぎました。「すれ違う人にあいさつして顔を覚える」など、すぐに行動できそうな挑戦もありました。



## 日本一の福祉のまちをめざして

### つながりのある煩わしいまちに

近所との会話もなく、何でも役所がしてくれる。それが快適で住みやすいということなら、あえて煩わしくて不便なまちにしたい。住民同士が助け合って問題解決できるようになれば、将来人口減少や高齢社会を迎えても、市民によって自立ができます。

**吉田一平市長**  
長久手市長



もう一度緑を復活させ、もう一度声を掛け合い、もう一度つながりのあるまちに。みんなでこれだけのことを実現させれば、長久手市は日本一の福祉のまちになると信じています。



共に働く仲間として、その人の良さを生かせる仕事を考えながら、障がい者の就労支援をしています。また「子ども食堂」の活動を通し、子どもを取り巻く問題は子どもだけではなく、家庭や地域などさまざまなのだと知りました。

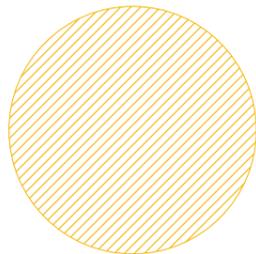
子ども、高齢者、障がい者のことなど、みんなが自分のこととして考えられる社会になるといいと思います。目の前にいる人のことを一生懸命考える人になる。誰かが困っていたら、一緒に考える人でありたいです。

**大原由恵さん**  
NPO法人 楽歩 副理事長





2017 | 9 | 20



愛知県立大学

### 第3回ワーキング 今日は鍋を囲みながら交流を。 現実の課題と向き合い、 トークも熱気を帯びてきます。

第3回目のワーキングを行ったのは愛知県立大学。  
会場には、あたたかな湯気と美味しい匂いが立ちこめていました。  
席を移動しながら話し合いをおこなう「ワールドカフェ」にならない、この日は「ワールド鍋」方式で。  
4種類の異なる鍋を囲みながら、学生団体の活動や先輩たちの話にたくさんの刺激を受けました。

### 学生ディスカッション 現実の課題や問題を考える

夢だけではなく、今の現実的な課題や問題点は何か。それを実現したり、解決するには、どうしたらよいか。今日は少し踏み込んだテーマで話し合います。

課題や問題点に関しては、地域や他大学との連携や、資金、広報、拠点など、どれも「不足している」という意見が多く集まりました。

そして、「飲み会や食事会など大学同士もっと交流する」「個々の問題や情報を共有する」「イベント開催やポスターによる告知」「学生ボランティアのつながりを示す曼荼羅図」などが解決策として提案されました。



### 愛知県立大学の学生による取り組み02 ぐうすかびい! 障がいへの理解を深める機会に

発達障がいを持つ子どもたち、そしてその兄弟たちと、学生がマンツーマンや少人数グループで関わり合いながら遊ぶサークルです。一番の想いは子どもたちに楽しんでもらうこと。私たちにしても、障がいについて理解を深める貴重な機会になっています。

青木春菜さん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科3年



反省会やミーティングを繰り返す中で、さまざまな意見があることを理解し、その上で柔軟な行動力を身につけることが大切だと知りました。



### 愛知県立大学の学生による取り組み03 めだかの会 子どものために保護者とも交流を

工作やゲーム、おやつづくり、そして野外でのイベントなど、主に障がいのある子どもたちを対象に活動するボランティアサークルです。子どもたちに思い切り楽しんでもらうためには、保護者との交流も必要です。

綿野真輝さん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科3年



保護者の方たちに向け、年間計画書という取り組みを始めました。こんな活動をしますとか、今こんな課題がありますとか、目に見える形で誠意を伝えたいと思っています。



### 愛知県立大学の学生による取り組み01 DoNabenet inあいち 鍋は、つながりづくりのきっかけ

地域の方と鍋を囲み、食事を通して「地域のつながり」のきっかけづくりをしています。それはまた、異世代交流から、食育、学生による地域のボランティア、そして地域の防災や減災につながるきっかけにもなっています。

永井杏さん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科4年



鍋を囲むと親しくなりやすいというメリットを生かし、4団体それぞれの鍋を用意しました。各テーブルを回り、鍋をわいわい楽しみながら、色々な団体のことを知り、どんどんつながってください。



### ゲストトーク 学生のボランティア活動と社会とのつながり 学生を受け入れる土壌が整う長久手市

学生側は、地域とつながればもっと大きな活動にできる。反対に地域側は、学生の力を借りることで違う視点が生まれます。

SOSの早期発見、早期対応ができる地域づくりのため、子育て応援冊子や「子ども食堂」など学生さんと共に連携しています。

学生さんには職員や市民とは異なる要望や意見があり、1人加わるだけで、枠にはまった考えやものの見方が変化することもあります。



加藤昭宏さん  
長久手市  
社会福祉協議会  
コミュニティ  
ソーシャルワーカー

野村こはるさん  
長久手市役所  
福祉部福祉課

松宮朝先生  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科准教授

### 愛知県立大学の学生による取り組み04 子どものひろば 地域への貢献が大切な学びに

主な活動として、毎年夏と冬におこなっている「キッズパーク」というイベントの企画運営をしています。それに加え、長久手市などの子ども会や児童館といった外部からのボランティア依頼も請け負っています。

戸河里日菜子さん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
教育発達学科2年



連携している長久手市など、地域に貢献することによって地元の方との交流も深まります。年齢や学校の垣根を越えて絆を深め、コミュニケーションを図ることは、私たちにとても大きな学びとなっています。



### 愛知県立大学の学生による取り組み05 楽生部会 目標は最高の空間づくり

年齢や障がいの有無などに関係なく、誰でも参加でき、誰もが居場所を見つけられ、誰をも理解できる。そんな思いからできた学生団体です。ライブハウスで音楽を軸に、どんな人でも参加できる最高の空間をつくることを最終目標にしています。

松岡凌矢さん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科1年



自分のできることをできる範囲で楽しいことだけやる。直接意見を聞きに行く。学部学科を問わずメンバーを集める。学生の特権を生かす。他大学ともつながる。社会に訴えられるようにアウトプットする。目標実現のため、この六つを大事にしています。

城間ゆうさん  
愛知県立大学  
教育福祉学部  
社会福祉学科1年



2017 | 9 | 23 愛知県立芸術大学

## 第4回ワーキング 今日は、最後のワーキング。 里山の豊かな自然の中に身を置いて、 改めて長久手市への提案を考えます。

第4回目の会場は、今も里山の風景を残す愛知県立芸術大学。  
そんな長久手の豊かな自然をピクニックで感じつつ、最後のワーキングはおこなわれました。  
大学と市の連携事例に触れながら、自分たちと地域はどのようにつながることができるか。  
今までの活動を振り返りながら、学生たちは長久手市への提案内容を話し合います。



### 愛知県立芸術大学の視覚伝達デザインの取り組み 地域のため良好な関係で連携を

始まりは「N-バス」から。バスの外装だけでなく、バス停、時刻表など、運行に関わる全てに携わりました。以後20年にわたり、長久手市とグラフィック研究室は様々な事業をしています。

**佐藤直樹先生**  
愛知県立芸術大学  
美術学部デザイン・工芸科  
デザイン専攻准教授

まちを良くするための提案をし、それが受け入れられ、非常に良好な関係ができたと思います。良いデザイナーはもちろん、良いクライアントがいないと良いデザインは成立しません。今後も地域のための連携をしていきたいと思っています。



### 学生による愛知県立芸術大学の地域連携の取り組み 何げないところから発展するつながり

#### LIBERAL (リベラル)

愛知芸大を長久手市内や、日本全国、さらには世界に発信していきたいと立ち上げたグループです。今夏には、大学の広大な環境を使い、学生が作品展示をおこないました。

愛知芸大も長久手市のスポットの一つとして、さらに地域との連携を深めていきたいと思っています。

**吉村淳さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻3年

**小西祐矢さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部デザイン・工芸科  
デザイン専攻3年

**下村葉由さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部美術科  
油画専攻2年



### 愛知県立芸術大学の環境デザインの取り組み 地域とともに考える専門家として

市との連携に、デザイン専攻の授業に組み込んだ「環境デザイン夏季講座」があります。昨年は、長久手市の問題提起からその解決策、デザイン提案まで、学生が行政の方々の前でプレゼンテーションをおこないました。

**水津功先生**  
愛知県立芸術大学  
美術学部デザイン・工芸科  
デザイン専攻教授



ゼロから里山の活動を体験し、自分たちの行動の糧にしたい。モリコロパーク内にある「あいちサトラボ」は、そんな人たちの実験の場。実際には、長久手市内の農家の協力によって実現できています。

良いデザインを生むには、全体の半分を専門家が考え、残り半分は地域の人々で考えることが必要。一緒に考える専門家として、ともに勉強していきたいと思っています。

### 愛知県立芸術大学の音楽による地域連携の取り組み 実践的な活動の場といえる長久手市

卒業生や在学学生による学内での数々のコンサートには、固定ファンもいらして、近隣の方が来てくださいます。また、本学の音楽活動のハブともいえる「長久手市文化の家」とは、「室内楽の楽しみ」「大学院オペラ」などの提携事業をおこなっています。

**安原雅之先生**  
愛知県立芸術大学  
音楽学部音楽科作曲専攻  
音楽学コース教授



“ホーム”である大学だけでなく、市内の施設も大切な活動の場所であり、学生にとって長久手市は実践的な活動の場になっているようです。また今年度からは「長久手市文化の家」の方に、学生へのアウトリーチ指導をお願いしており、体系化していきたいと思っています。



#### いも部

愛知芸大の敷地内に畑をつくり、サツマイモを育てる集団です。畑を耕しイモを育てるだけでも、地域とのつながりができると実感しています。

気ままに考えていたことが大きな活動に発展して、とまどいながらも楽しませてもらっています。

**井上晴菜さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻2年

**西堀菜々子さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻2年

**安田圭さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻1年

**小谷梨乃さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻2年



**鈴木菜々子さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻1年



**芝原沙里亜さん**  
愛知県立芸術大学  
美術学部  
デザイン・工芸科  
デザイン専攻1年

### 愛知県立芸術大学のメディアデザインの取り組み 貴重なフィールドで最大限の活動を

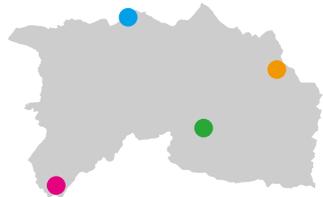
長久手市で農ある暮らしを考えるwebサイトや、愛知芸大の自然を使っておこなう親子の野外活動、市内での自然体験を通じた地域交流など、今までの活動を振り返ると、キーワードは「里山」。「三ヶ峯里山計画」として、改めて地域の生態系と暮らしを考えています。

**石井晴雄先生**  
愛知県立芸術大学  
美術学部デザイン・工芸科  
デザイン専攻准教授

長久手市は、人間界と自然界が非常に接近している珍しい土地。住宅地で経済的に発展しながら、畑や田んぼもある。そんな貴重なフィールドで、今後も最大限の活動をしていきたいと思っています。



# NAGAKUTE VISION 4U



長久手市大学連携推進ビジョン4U(長久手市大学連携基本計画)は、  
大学生一人ひとりの「志」や「夢」の実現を応援しています。  
大学生の皆さん、私たちと一緒に、新しいことにチャレンジしませんか。

## 長久手市大学連携推進ビジョン4U

長久手市は、大学連携を4つのビジョンに基づき推進します。

ビジョン1

### 社会貢献

地域社会が抱える課題解決のために「あなたも一歩、みんなと一歩」をめざして、大学生と地域をつなぎます。

ビジョン2

### 教育活動支援

市内にある愛知淑徳大学、愛知医科大学、愛知県立芸術大学、愛知県立大学の4大学の専門性と特色を生かし、地域課題を解決する社会貢献活動につなげるための教育活動を支援します。

ビジョン3

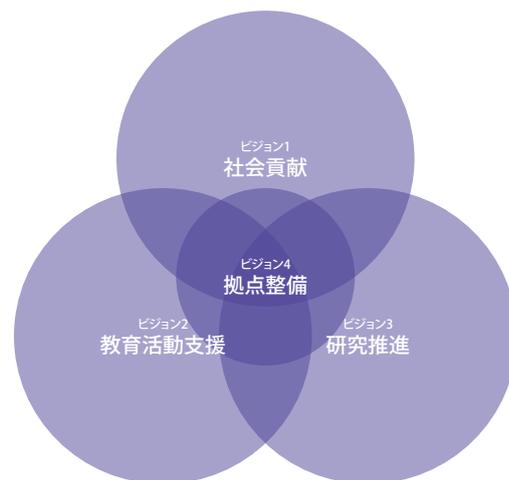
### 研究推進

大学の教員、大学生の研究を支援し、長久手市の地域の課題解決と活性化を図ります。

ビジョン4

### 拠点整備

地域、企業、大学と市とが相互に連携するための、地域連携の活動拠点整備を進めます。



長久手市大学連携基本計画「長久手市大学連携推進ビジョン4U」ワーキング活動レポート

ホームページ [nagakutevision4u.com](http://nagakutevision4u.com)

発行年月 2018年3月

問合せ 長久手市たつせがある課

住所 〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60番地1

TEL 0561-63-1111(代)

